

超低出生体重児における被膜児帝王切開と新生児転帰に関する検討

1. 研究の対象

2015年4月1日から2023年12月までに沖縄県立南部医療センター・こども医療センター産婦人科で周産期管理を行った超低出生体重児での分娩となった症例のうち、除外基準のいずれにも該当しない患者を対象とする。

1) 除外基準

- ① データに不備がある症例
- ② その他、研究責任者が研究対象者として不適当と判断した患者

2. 研究の方法、目的

沖縄県立南部医療センター・こども医療センターにおいて超低出生体重児症例における被膜児帝王切開と新生児予後との関連を明らかにするため診療記録を後方視的に検討します。超低出生体重児における被膜児帝王切開の新生児予後に関する報告や、被膜児帝王切開の安全性に関する報告は多くないため、今後の周産期管理に有用な情報が得られる可能性があります。本研究は「ヘルシンキ宣言(2013年10月修正)」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科省・厚生労働省告示第3号)を遵守して実施します。

3. 使用する試料・情報

母体年齢、経妊経産回数、分娩週数、膜性診断、分娩方法、出生前治療内容、児の出生時体重、Apgar score、臍帯動脈血pH、分娩時の児のヘモグロビン値、新生児期脳出血発症の有無、腸管穿孔の有無、新生児死亡の有無、等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。論文公表後のお申し出には対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

電話番号：098-888-0123

研究責任者：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 産科 長井 裕